

2015 年卒業試験 再現問題 C ブロック

(C1-3)

浮腫について最も考えられるものをえらべ。

- ① 40 歳男性 下肢に浮腫を生じた。浮腫は圧痕を残す。血清アルブミン 2.8g/dl 血清総コレステロール 280mg/dl 尿タンパク3+ 尿潜血－
- ② アスピリンを飲んで呼吸困難になった。
- ③ 60 才女性。口唇と眼瞼の浮腫を主訴に来院した。診察の結果、意欲低下、記憶力の低下が見られ、寒がりになり、便秘が続いており、体重が増加していることがわかった。四肢に浮腫が見られるが圧痕は認めない。また、皮膚の乾燥が見られた。

- a 心不全
- b 血管性浮腫
- c リンパ性浮腫
- d 甲状腺機能低下症
- e ネフローゼ症候群
- f 原発性アルドステロン症

(C4-6)

- ① 高齢者の呼吸困難、発熱。X 線で右下葉に浸潤影。
- ②
- ③ 50 歳男性、発熱・倦怠感・食思不振を訴える。歯痛を放置していた。収縮期心雑音を認める。

- H インフルエンザ
- I 感染性心内膜炎
- J マイコプラズマ肺炎
- ・細菌性肺炎

(C7-9)

- ① 30 歳女性。2 週間前から動悸と息切れを自覚して受診。2 か月前から、日差しの下で皮膚が赤く水泡が生じた。白血球 2500 尿たんぱく (3+)
- ② 18 才男児 1 週間前から発熱、咽頭痛、鼻汁があり、2 日前から胸痛が出現した。心電図で広範な ST 上昇をみとめ、CK,CK-MB は正常
- ③ 3 日前から発熱、胸痛を訴えている。階段昇降時に胸痛と息苦しさを感、椅子に座ったところ 2 時間程度で軽快した。心電図にて異常 Q 波を認める。

- a. Dressler 症候群
- b. SLE
- c. 細菌感染
- d. 結核感染
- e. 悪性リンパ腫
- f. ウイルス感染

(C10-12)

次に測るべき検査項目は？

① 60 歳男性。20 年間、糖尿病の治療を行っている。

BUN:40mg/dl、Cr:2.2mg/dl、Hb:9.0g/dl、MCV:90fl

②50 歳女性 食欲不振 活動性の低下。HR 50 ,Tchol 280 ,MCV 90

③貧血が主訴。次にするべき検査はどれか。20 歳(ぐらい)女性。WBC1500、Plt2 万。

a freeT3

b Vit.B12

c 葉酸

d 骨髓穿刺

e ヘモグロビン分画

f TIBC

g 血清鉄

h, エリスロポエチン

(C13-15)

① 17 オの男。オープンキャンパスで手術のデモ講義を見ていたら気分が悪くなり、吐き気、腹痛を感じたためトイレに行ったが、途中で失神。数分で意識回復したが、脈は微弱で顔面蒼白。

② 反復する回転性めまい、感音性難聴。

③

a.,メニエール

b,Bell 麻痺

c,血管迷走神経反射

d,洞性徐脈

e,Ramsey Hunt 症候群

f,起立性低血圧

g,椎骨脳底動脈循環不全

h,良性発作性頭位めまい症

(C16-18)

- ① 58 歳男性。高血圧と糖尿病の治療を受けている。突然発語が不明瞭になり、右顔面の麻痺と感覚低下、右半身麻痺を生じた。搬送後の診察で Babinski 反射陽性である。
- ② 25 歳男性、痙攣発作後に右片麻痺が出現。症状は 2 時間で消えた。
- ③ アルコール多飲。外眼筋麻痺、失調、意識障害。

a. Bell 麻痺

b. TIA

c. Todd 麻痺

d. VitB1 欠乏症

e. VitB6 欠乏症

f. VitB12 欠乏症

g. 脳梗塞

h. 重症筋無力症

i. 多発性硬化症

j. 糖尿病性神経障害

(C19-21)

- ① 中年男性、飲み会でアルコール多飲。心窩部～背部痛。
- ② 68 歳男性。夜間、突然、激しい腹痛が出現しすぐに来院した。夕食で飲酒をしていない。夕食で魚介類を食べていない。検診で不整脈を指摘されたことがあるが自覚症状はない。血圧 150/100、心拍数 100、体温 38.4。
- ③ 若年者で心窩部痛から右下腹部に局限する持続性疼痛。

a, 急性肝炎

b, 急性膵炎

c, 急性虫垂炎

d, アニサキス症

e, 急性胆嚢炎

f, 偽膜性腸炎

g, 潰瘍性大腸炎

h, 虚血性腸炎

i, 腹部大動脈瘤解離

j 上腸間膜動脈閉塞

(C22-24)

- ① 40 歳女性。右母指、示指、中指に限局したしびれ・灼熱感を訴える。しびれは夜間に増強する。軽く手を振ると軽減する。事務職でよく右手を使う。身体所見で右母指球筋の萎縮と患指に知覚低下を認める。

Spurling test 陰性である。→正中神経麻痺

②

③

(C25-27)

- ① 若年者の粘血便。痔ろうはない。

- ② 小児の男児。突然の大量の赤褐色便で母親が慌てて連れてくる。腹部所見、機嫌、発熱など含めて、異常所見はなし

- ③ 鶏肉食べた 5 日後に血まじりの便で、だんだん血そのものようになった。父親は下痢が続いている。

a. 潰瘍性大腸炎

b. クローン病

c. メッケル憩室

d. 腸重積

e. サルモネラ

f. 腸管出血性大腸菌

(C28-30)

- ① X 線で石灰化を認める膝関節の写真。

- ② リウマチ性多発筋痛症の病歴。

- ③ 70 歳男性。悪寒戦慄、嘔気、背部の重苦感。直腸癌の手術の既往があり、神経因性膀胱で自己導尿している。もっとも考えられる疾患はどれか。

a, SLE

b, 関節リウマチ

c, 膀胱炎

d, 腎盂腎炎

e, 悪性リンパ腫

f, 無菌性髄膜炎

g, リウマチ性多発筋痛症

h. 偽痛風

i. 痛風

(C31-33)

①

- ② 18 歳男性、オープンキャンパスで手術のビデオ見ていたところめまいが生じた。

③

(C34-36)

①

② 30 歳の男性。一ヶ月前から続く心窩部痛を主訴に来院。ここ 1 週間で増悪。痛みは朝方に増悪し、摂食で軽減する。ここ 3 ヶ月間、仕事のストレスが多く、残業や休日出勤もこなしていた。

③ 160cm 80kg 運動療法としてランニング中、胸が痛くなった。冷や汗も出てきた。BP 100/66, HR 122 bpm

(C37-39)

①

② 63 歳男性、右不全麻痺、完全失語、右同名半盲

③

(C40-42)

① 40 歳男性。工場爆破で広範囲に高度の熱傷。全身に浮腫とチアノーゼを認める。気管挿管は不可能。

② 25 歳男性。てんかん重積状態の患者。血糖値に異常なし。次に行うべき検査は？

③ 胸刺されて血圧低下。頻脈。

a. 気管切開

b. 輪状甲状間膜切開

c. ジアゼパム経口投与

d. 輸液＋ジアゼパム

e. 心嚢穿刺

(C43-45)

① 夜間や早朝に一過性の共通。発作時に ST 上昇する。

②

④ SLE の患者。流産後長期安静後の突然の胸痛

a. 異型狭心症

b. 肺血栓塞栓症

(C46-48)

血ガスの組成は？

① 妊婦 自然流産後安静にしていたら突然の呼吸困難

②呼吸困難が増悪し、救急搬送された。レントゲンで肺過膨張と右下肺野の浸潤影を認める。咳と膿性の痰を伴う。

③S 状結腸切除術後頻回の下痢。

(C49-51)

①

②

③ 18 歳男性、38 度の発熱と痰のない咳がある。同級生も同じような咳をしているという。聴診で副雑音なし。
レントゲンで両側下肺野にすりガラス影を認める。

(C52-54)

① 解熱後に発疹がでた子供。機嫌は悪くない。

② 5 歳 8 ヶ月

発熱と同時に顔から全身に広がる発疹

現症:表面のザラザラした細かい紅斑が全身に広がる。耳介後部リンパ節を触知する

③ 2 歳 6 カ月の男児。発熱と発疹を主訴に来院。鳥肌がたったような発疹で母親はアレルギーではないかと心配している。舌は発赤しており、口腔内は発赤し白苔を認める。

1.麻疹

2.水痘

3.風疹

4.川崎病

5.伝染性紅斑

6.突発性発疹

7.溶連菌感染症

8.細菌性髄膜炎

9.手足口病

10.アナフィラクトイド紫班

(C55-57)

① 26 歳女性 体重増加、月経異常、多毛 血圧 150/?

② 若年女性、悪性高血圧。高血圧発作に対して不安がある。

③ 40 歳女性 最近顔貌の変化、声が低くなってきた。両手の知覚の低下、皮膚肥厚、舌が大きくなってきた、
近位筋の低下も認める。

a, Addison

b, Cushing

c, SIADH

d, 尿崩症

e, 褐色細胞腫

f, 先端肥大症

g, 甲状腺機能低下?

h, 高プロラクチン

i, 副甲状腺機能亢進症状

j, 副甲状腺機能低下症

(C58-60)

黄疸を主訴に来院した患者で最も考えられる診断を選ぶ。

- ① 24 歳、男性。全身倦怠感、黄疸(もう一つありましたが忘れました)を訴え受診。褐色尿、白色調便も認められる。東南アジア旅行から 3 週間前に帰国した。肝臓と脾臓が肥大している。頸部リンパ節に圧痛がある。
- ② 成人で、ストレスがかかると黄疸が出る。間接ビリルビン優位。
- ③ 35 歳男。潰瘍性大腸炎を罹患している。黄疸、掻痒感、腹痛を訴える。ALP 上昇。抗ミトコンドリア抗体陰性。

a,A 型肝炎

b,B 型肝炎

c,Gilbert 症候群

d,Dubin-Johnson 症候群

e,Rotor 症候群

f,溶血性貧血

g,原発性胆汁性肝硬変

h,原発性硬化性胆管炎

i,自己免疫性肝炎